

# 計算幾何学特論：計算折り紙入門

上原 隆平

北陸先端科学技術大学院大学

情報科学研究科教授

[uehara@jaist.ac.jp](mailto:uehara@jaist.ac.jp)

10月26日(月)

10:30-12:00

13:00-14:30

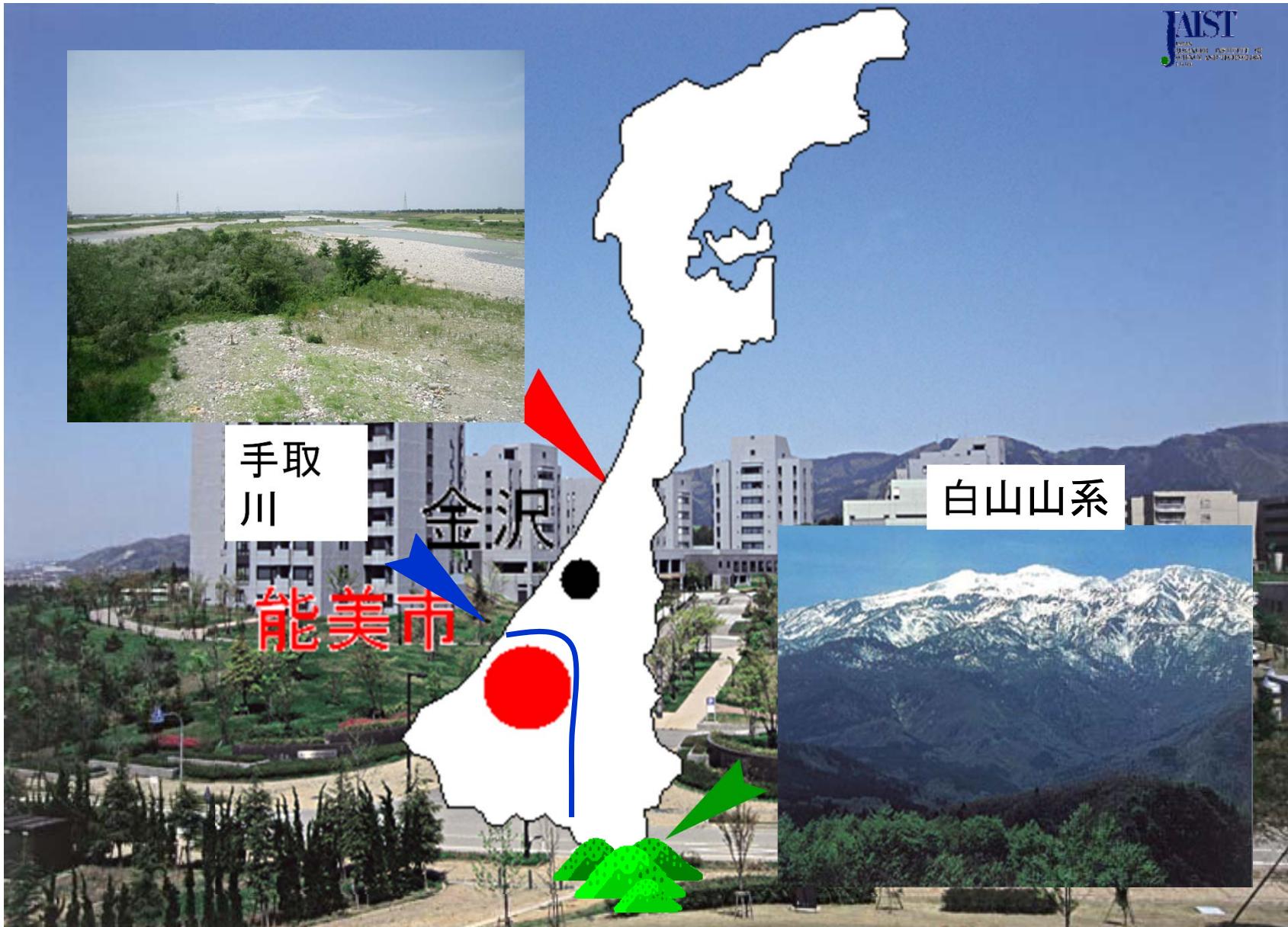
14:50-16:20

10月27日(火)

10:30-12:00

13:00-14:30

14:50-16:20



# JAISTの特徴(上原私見)

- 大学院大学なので、学部がない
  - 研究に強い大学院(教員が研究をする時間が比較的ある)
  - セメスター制:授業は2カ月単位で進む(週に2回×15回)
  - 学生と教員の「距離」が近い(教職員は400人くらいで学生数は1000人くらい)

# 自己紹介



所属：

北陸先端科学技術大学院大学

情報科学研究科 教授

DBLP

## 専門分野：理論計算機科学

- アルゴリズム  
特にグラフアルゴリズム

エルデシュ数=2  
(Pavol Hell氏と共に著)

- 計算量  
特にパズル/ゲームの計算量
- 計算幾何学  
特に計算折り紙

JAIST ギャラリーの...

今日、ここにいる理由

### Refine by AUTHOR

- Ryuhei Uehara (134)  
Erik D. Demaine (32)  
Takeaki Uno (25)  
Martin L. Demaine (22)  
[top 4] [top 50] [all 116]

### Refine by VENUE

- CCCG (18)  
Theor. Comput. Sci. (TCS) (12)  
ISAAC (12)  
IEICE Transactions (IEICET) (8)  
[top 4] [all 44]

### Refine by YEAR

- 2015 (7)  
2014 (23)  
2013 (14)  
2012 (16)  
[top 4] [all 19]

# 計算折り紙(Computational ORIGAMI)とは？

- 折り紙(ORIGAMI)
  - 1500年代、おそらく紙の普及とともに自然発的に...?アジアで...
  - 現在、ORIGAMI はすでに英語化していて、書店にも ORIGAMI コーナーがある。
  - 折り紙っぽいものも...



# 計算折り紙(Computational ORIGAMI)とは？

- 折り紙の急激な発展

- 1980年代~1990年代、折り紙が急速に複雑化した。



前川の「悪魔」  
1980年頃発表  
(正方形1枚から  
折れる！)



川崎ローズ  
1985年頃発表  
(正方形1枚  
から折れる！)



Robert Lang のハト時計  
1987年頃発表  
(1×10の長さの長方形の紙  
1枚から折れる！)

# 計算折り紙(Computational ORIGAMI)とは？

- コンピュータの利用と折り紙への応用
  - 1990年代以降、コンピュータを用いた折り紙デザインが発展



Robert Lang のハト時計  
1987年頃発表  
( $1 \times 10$ の長さの長方形の紙  
1枚から折れる！)



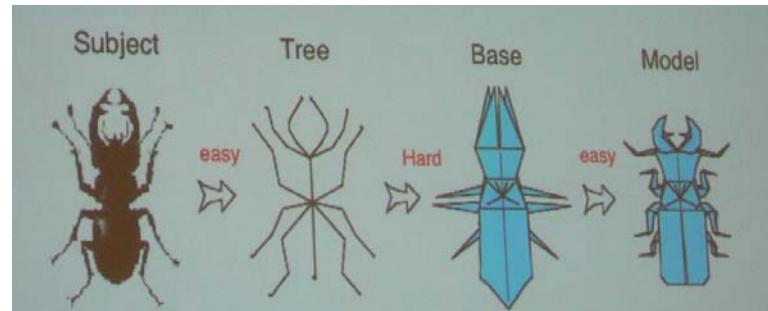
舘知宏のOrigamizer  
2007年発表  
(長方形の紙1枚から  
10時間くらいで折れる)



三谷純の回転対称な折り紙  
2010年頃発表  
(長方形の紙1枚から折れる)

# 折り紙とコンピュータサイエンス

- 近年、むしろ海外で脚光をあびている
- 方法論の確立とソフトウェアの開発：
  - 1980年代：前川さんの「悪魔」
    - CAD的に「パーツ」を組み合わせる  
コンプレックス折り紙の発祥
  - 2000年代：LangさんのTreeMaker
    - 与えられた「木構造」(距離つき)  
を正方形上に展開するソフト
    - さまざまな最適化問題を  
現実的な時間で計算



# 折り紙とコンピュータサイエンス

- 折り紙の科学に特化した国際会議：
  - 1989年12月@ Italy  
The International meeting of Origami Science and Technology
  - 1994年@滋賀県大津
  - 2001年3月@アメリカ  
The International meeting of Origami Science, Mathematics, and Education (3OSME)
  - 2006年9月8日～10日@アメリカ  
4OSME
  - 2010年7月13日～17日@シンガポール  
5OSME
  - 2014年8月10日～13日@東大  
6OSME



Welcome to 6OSME  
in Tokyo!

August 10-13, 2014, Tokyo, JAPAN



JAISTシンポジウム2015

# 「折り紙の科学」

「折り紙」は英語でもオリガミ (Origami) としてそのまま通用する国際語で、  
オリガミ・サイエンスは現代科学の最先端です。  
科学からアートまで、折り紙の「今」と一緒に体験してみましょう。

参加費  
無料

定員  
150名

作品展示  
同時開催

日程  
**11月8日(日)**  
13:00~16:15(開場 12:30)

場所

北國新聞 20階ホール  
金沢市南町2-1

会場  
同時間開催：「科学する折り紙」17F会議室

※詳細は裏面をご覧ください

プログラム

開演：13:00~(開場 12:30)

**学長挨拶／浅野 哲夫** (北陸先端大 学長)

**特別講演／三浦 公亮 氏**

「ミウラ折り

—それは何に使えるか?—

**パネルディスカッション**

「折り紙科学の最前線」

パネリスト／三谷 純 氏、館 知宏 氏

コーディネーター／

上原 隆平 (北陸先端大 情報科学研究科 教授)

**ワークショップ**

「テンプレートで折るミウラ折り」

終了予定：16:15

講師紹介



三浦 公亮 氏

(みうら・こうりょう)  
東京大学および JAXA 宇宙科学研究所名誉教授  
東京大学宇宙航空研究所、後に JAXA 宇宙科学  
研究所で宇宙構造工学講座を創設、宇宙の展開  
構造物の専門家。二次元展開ソーラーパネル  
(通称ミウラ折り)、巨大展開アンテナ  
(テンション・トラス)などの発明を行なう。



三谷 純 氏  
筑波大学 システム情報系 教授



館 知宏 氏  
東京大学 大学院総合文化研究科 助教

## ミウラ折りを実践しよう

ミウラ折りは「宇宙技術の折り紙」。  
小さくたたんで大きく使えるミウラ折りを  
考案者の三浦先生自らが実演・指導します。

JAISTシンポジウム2015 同時開催

入場無料 事前申込不要

# 「科学する折り紙」

日程

**11/8 日**

11:00~  
18:00

**11/9 月**

10:00~  
16:00

会場

北國新聞 17階 172会議室 (金沢市南町2-1)

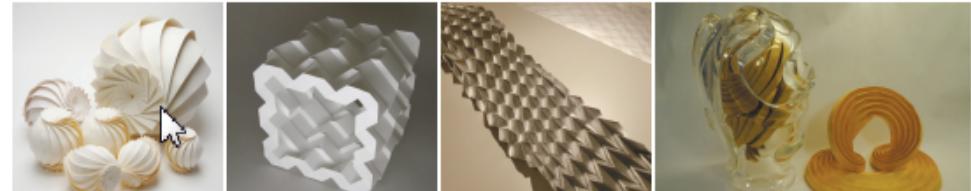
折り紙の技術は科学からアートまで、多くの分野で使われています。

紙をまっすぐ折るのが「折り紙」だという思い込みからいったん離れてみましょう。

曲線に沿って折ったり、金属を折ったりすると、どうなるでしょう。

そこには驚きの世界が待っています。最先端のオリガミ (Origami) をお楽しみ下さい。

## 折り紙作品展示



# 計算折り紙(Computational ORIGAMI)とは？

- “Computational Origami”の提案

1990年代~

計算幾何学の分野で「計算幾何」や「最適化問題」として「折り」の問題をとらえ始める

この分野の超著名な研究者:Erik D. Demaine

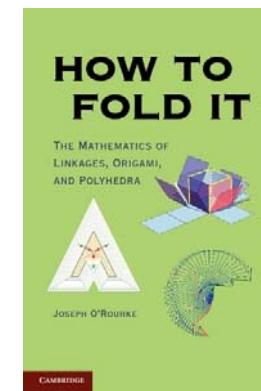
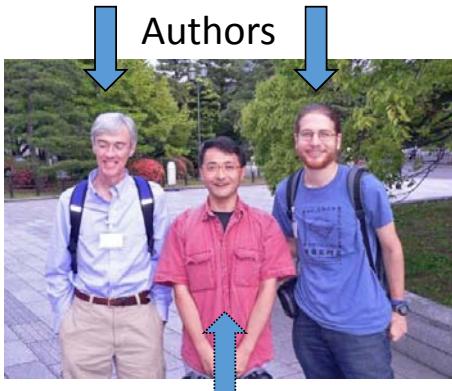
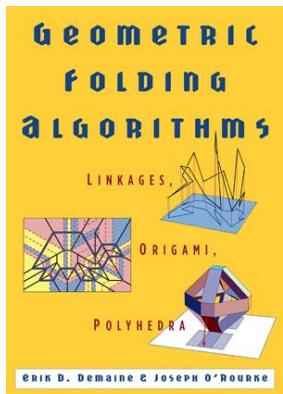
- 1981年生まれ
- 20歳でカナダで博士号を取得し、そのままMITの教員になり、現在に至る
- 彼の博士論文のテーマが計算折り紙であった.



# 計算折り紙(Computational ORIGAMI)とは？

- 文献紹介

*Geometric Folding Algorithms: Linkages, Origami, Polyhedra*  
by J. O'Rourke and E. D. Demaine, 2007.



2011



2012

I, translated it to Japanese (2009).

# 本講義のトピック

今日：複数の凸多面体が折れる展開図の研究

- 展開図と立体のとても悩ましい関係：最大の未解決問題
- 与えられた「展開図」を折って作れる（凸）「立体」

計算幾何

明日：「折り」のアルゴリズムと計算量の関係

- 折り紙の基本操作
- 折り紙のアルゴリズムと計算量
  - 1次元の紙における効率のよい折り方（アルゴリズムと計算量）
  - 1次元の紙における計算不能性（計算の理論）

アルゴリズム  
計算量

# (辺)展開図とは？

- (一般)展開図: 多面体の表面を切って平面上に広げた多角形
  - 連結であること
  - 重なりを持たない単純多角形であること(便宜上、直線の集まりとする)
- (辺)展開図: 多面体の辺に沿って切り広げた多角形
  - 展開の境界部分は多面体の辺からなる

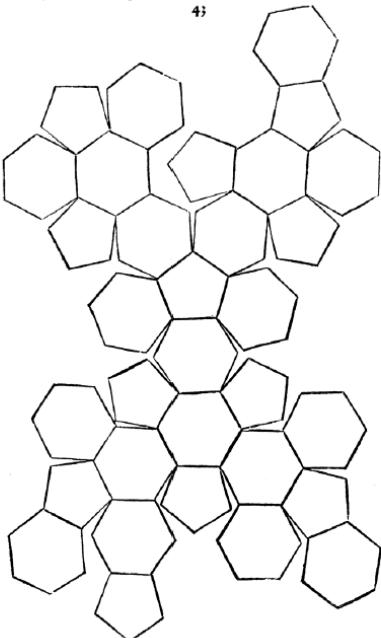
★今日は「展開図」といえば一般の展開図という意味なので注意

# 展開図の簡単な歴史

- ・アルブレフト・デューラーの『画家マニュアル』(1525)

*Wn anders das mach auf zweienig schefchter flachen federn/gleichsellig vnd windlich/ so man darzuthat zwey hufelte flacher fedder/ so die gleichselliit argen den schefchern/ seden sind/ vnd in ihen selbe auch gleich windlich und ebenlich an einander gesetzet/ den wie ich das often im plano hermach hab auferlassen / So man dann das alles zusammen/ festsetzt/ so wurt ein corpus daraus/ das gewinnet brev und sechzig ecken/ vnd neunzig scherf/ feuen/ das Corpus rütre in einer gelten fügden mit allen seinen ecken an.*

43



- ・数多くの立体を辺展開図で記述していた
- ・どうも以下の成立を予想していた...?

**未解決予想：**  
任意の凸多面体は辺展開図を持つ

# 展開図の簡単な歴史

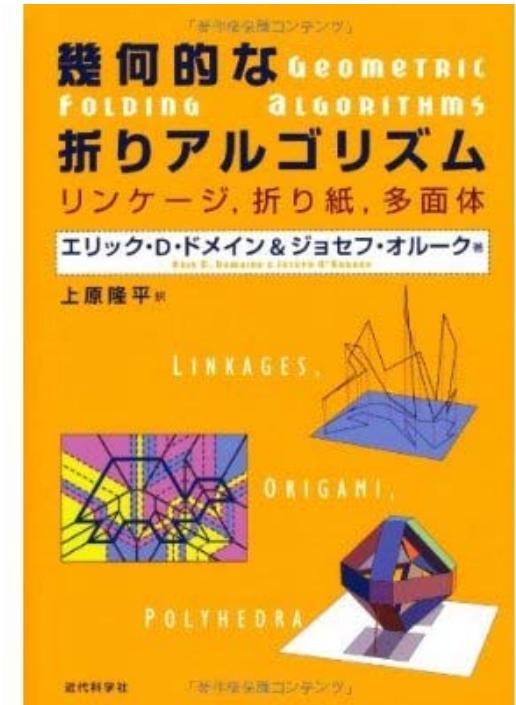
未解決予想：

任意の凸多面体は辺展開図を持つ

(今日はやらない)未解決予想の周辺の結果：

- 反例らしいものすら見つかっていない(当然?)
- 凹多面体なら反例がある  
(どんな辺展開も重なってしまう)
- 辺展開でなく一般展開なら可能  
(一般の点から各頂点に最短路を描いて切るという方法)
- ランダムな凸多面体をランダムに展開すると  
実験的にはほぼ確率1で重なってしまう

まとめ：展開図に関してわかっていることは、ほとんどない



もし興味があれば...

# 展開図の簡単な歴史

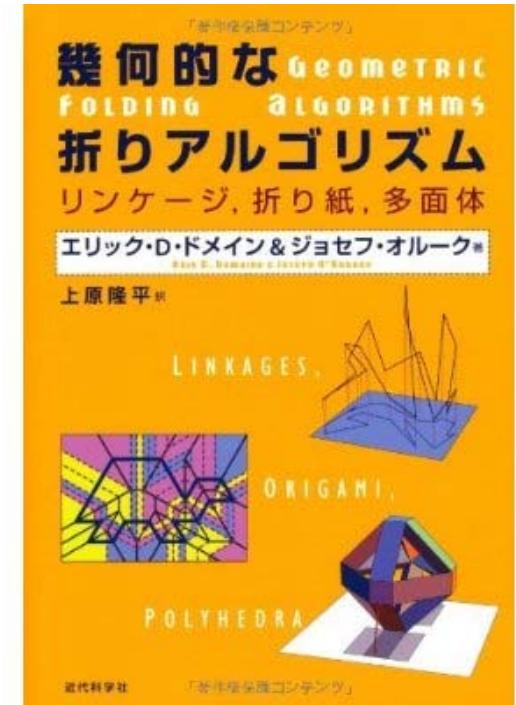
未解決予想：

任意の凸多面体は辺展開図を持つ

まとめ：展開図に関してわかっていることは、  
ほとんどない

本研究の興味の対象：

- 多角形Pが与えられたとき、Pから折ることのできる  
(凸)多面体Qの特徴づけ・アルゴリズム
- (凸)多面体Qが与えられたとき、展開して得られる  
多角形Pの特徴づけ・アルゴリズム



もし興味があれば…

# 展開図の簡単な歴史

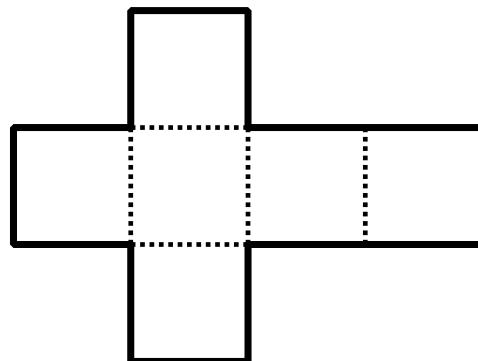
ポイント: 展開図に関してわかっていることは、ほとんどない

本研究の興味の対象:

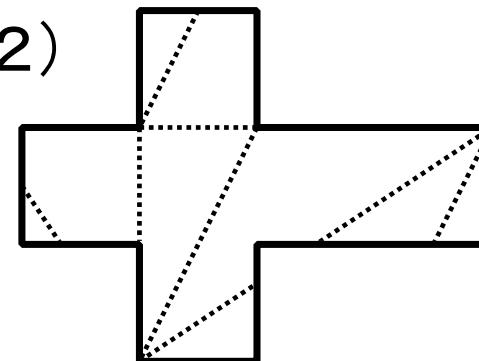
- 多角形Pが与えられたとき、Pから折ることのできる(凸)多面体Qの特徴づけ・アルゴリズム
- (凸)多面体Qが与えられたとき、展開して得られる多角形Pの特徴づけ・アルゴリズム

演習問題: 何が折れるでしょう?

(1)



(2)



ちなみにこの「ラテンクロス」からは85通りで23種類の異なる凸多面体が折れることが知られている。

# 今日の予定

## 1. 展開図の基礎的な知識

### 1. 正多面体の共通の展開図

### 2. 正多面体に近い立体と正4面体の共通の展開図 : 2時間目～3時間目

### 3. 複数の箱が折れる共通の展開図 : 3時間目



1時間目～2時間目

# 1. 展開図の基礎知識(1)

凸多面体Sの頂点と辺から構成されるグラフをGとする

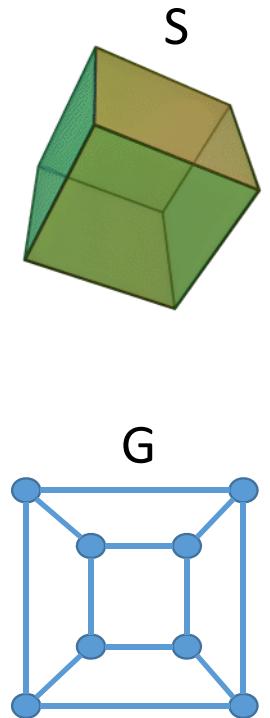
[全域木定理(その1)]

Sの辺展開におけるカットラインは、G上の全域木である

[証明]

- すべての点を訪れること:  
カットされない頂点があると、平坦に開けない
- 閉路をもたないこと:  
閉路があると、展開図がばらばらになってしまふため、連結にならない

系: 正多面体では、  
すべての辺展開  
においてカットの  
長さは同じ



[全域木定理(その2)]

Sの一般展開におけるカットラインは、S上ですべての頂点を張る木である

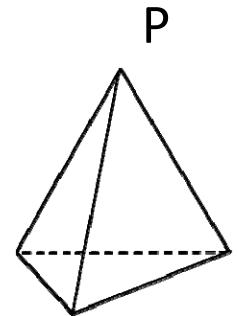
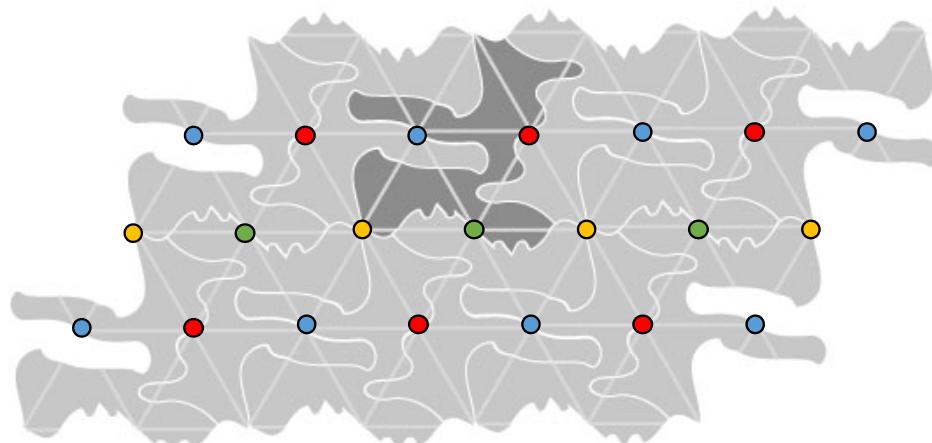
# 1. 展開図の基礎知識(2)

## 正4面体の(一般)展開図に関する特徴づけ

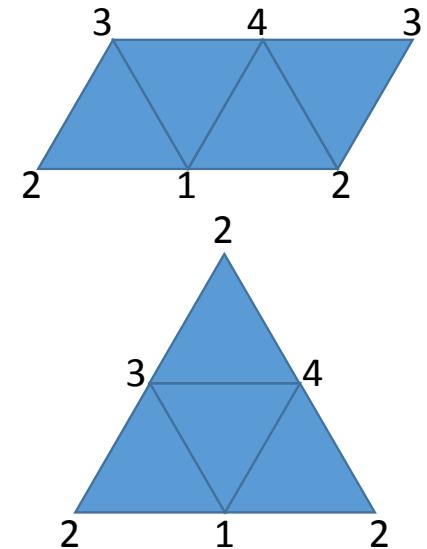
[正4面体の展開図定理(秋山 2007)]

正4面体の展開図Pは以下の条件を満たすタイリングであり、逆も成立する。

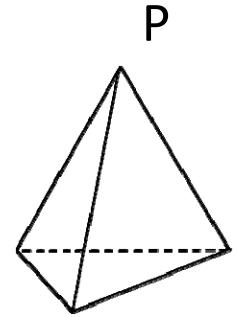
- (1) Pはp2タイリング。つまり $180^\circ$ 回転で敷詰め可能
- (2) 回転中心の4頂点が正三角格子をなす
- (3) この4頂点は、タイリング上で「同値」な位置にない



参考: 正4面体の辺展開図は二種



# 1. 展開図の基礎知識(2)



## 正4面体の(一般)展開図に関する特徴づけ

[正4面体の展開図定理(秋山 2007)]

正4面体の展開図Pは以下の条件を満たすタイリングであり、逆も成立する。

- (1) Pはp2タイリング。つまり $180^\circ$ 回転で敷詰め可能
- (2) 回転中心の4頂点が正三角格子をなす
- (3) この4頂点は、タイリング上で「同値」な位置にない

Tile-Makers and Semi-Tile Makers,  
Jin Akiyama, *The Mathematical  
Association of America, Monthly* 114,  
pp. 602-609, 2007.

### [直感的な説明]

平面上で正4面体を4回、  
上手に転がすと、元に戻る。  
各面にインクをつけて転がすと  
平面全体にスタンプを押せる。

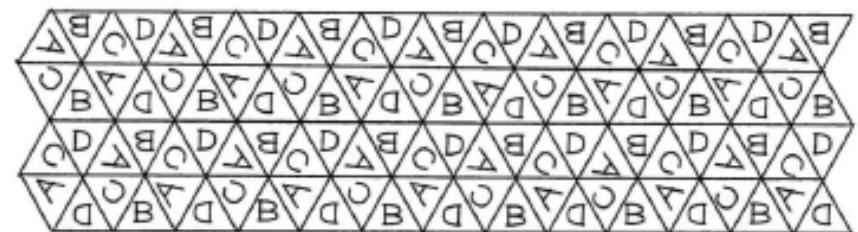
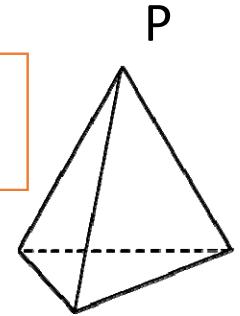


Figure 2.1. Carved regular tetrahedron R and the tiling by stamping with R.

# 1. 展開図の基礎知識(3)

4単面体(Tetramonohedron):  
4つの面が合同な4面体



## 4単面体の(一般)展開図に関する特徴づけ

[4単面体の展開図定理(秋山、奈良 2007)]

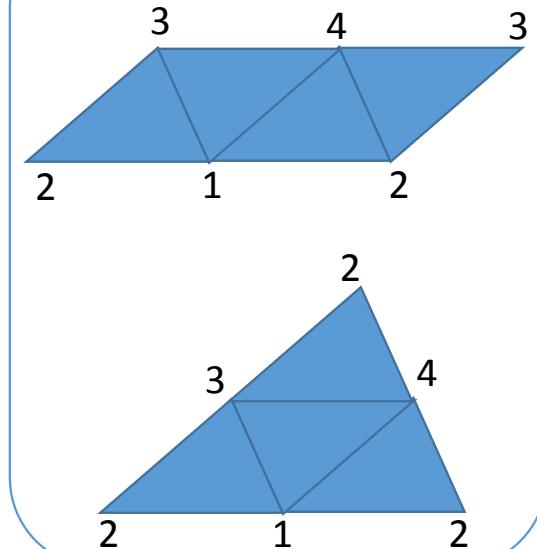
4単面体の展開図Pは以下の条件を満たすタイリングであり、逆も成立する。

- (1) Pはp2タイリング。つまり $180^\circ$ 回転で敷詰め可能
- (2) 回転中心の4頂点がその単面による三角格子をなす
- (3) この4頂点は、タイリング上で「同値」な位置にない

[直感的な説明]

正三角形を全体にゆがませればよい。

参考: 4単面体の辺展開図は二種



# 1. 展開図の基礎知識: 演習問題

正多面体の一般展開図の最短カットの長さは？

- 正4面体にはわりと美しい最適解があります
  - 最適解とその証明ができればなおよし
- 正8面体と正6面体
  - 最適解を見つけるのは、なんとかなると思う
  - 最適性を示すのは、手間がかかります
- 正20面体と正12面体
  - 最適解を見つけるのはちょっと大変かも